

『一つ一つの積み重ね』

島根県

法吉少年剣道会

小学6年 藤井陽花

一つ一つの積み重ねで、人は成長していくことを私は剣道を通して気づくことができました。

私は五年生から法吉少年剣道会に入会し、剣道を始めました。始めたばかりのころは、竹刀をうまく振ったり足を素早く動かしたりすることができませんでした。まわりのみんなは、小さいころから剣道を始めているので、私は少しでもみんなに追いつきたい、上手になりたいと思い、家でも素振りや摺り足を練習することにしました。

防具を着けて稽古をさせてもらえるようになってからも、なかなかまわりのみんなのように動くことができませんでした。そんな私でも先生方は試合に出させてくださったり強化合宿に参加させてくださったりしました。経験の少ない私は、試合に出ても負けてしまうことが多いです。くやしい気持ちもありましたが、まだ剣道を始めたばかり、勝てるわけがないだから負けてもいいよねと思っていました。だから、家での練習も疲れていると、今日はやめよう、また明日やればいいやという気持ちになっていました。そんな時、兄に、

「剣道は半紙一枚の積み重ねだと教わったよ。陽ちゃん、何でもいから一つ続けてみたら。」

と言われ、よし、やってみようという気持ちになりました。ただ数をこなしていた素振りは、左足の引きつけを早くし、全身を使って大きく振るように一本一本集中することにしました。また、摺り足は、体になるべく上下に動かないように同じ姿勢を保ったまま素早く動くことができるように意識しながら練習しました。家での練習のほかにも出稽古にも行くようになり、少しずつ自信がついてきました。

先生方にも、

「前より面打ちが良くなってきたね。」

とほめてもらえるようになりました。

六年生になり、チームのみんなに負担をかけたくない、少しでも貢献したいと強く思うようになりました。

今年の全国大会予選では、「チームのみんなで大将までつないで勝つ」を目標にして、私たち法吉少年剣道会は試合にのぞみました。

以前の私は、負けても仕方がないというマイナスの気持ちでしたが、試合では、今まで少しずつ積み重ねてがんばってきたんだから人一倍声を出してできることを精一杯やろうというプラスの気持ちで剣道をすることができました。一試合一試合みんなで声をかけ合

い大将までつなぎ、全国大会の出場切符をつかむことができたときは本当にうれしかったです。先生方や保護者の方が私たち以上に喜んでくださっている姿を見て、私はたくさんの方に支えられていることに気づきました。

自分のがんばりだけでなく、先生方が私たちのために熱心に稽古してくださり、保護者の方が一生けん命、応援してくださることが大きな力になっていることがわかりました。そして、仲間たちとの稽古、まわりの方々の支え、すべてのことが積み重なって今の私があります。

これからも、自分のできる一つ一つを積み重ね、もっと成長できるようにがんばります。